

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第74回：2021年8月22日（日）

○ゲスト：アートワールドひろさき

朝山 奈津子（アヤマ ナツコ）さん

出 佳奈子（イデ カナコ）さん



写真左：朝山さん 写真右：出さん

○ 放送内容

今回の放送では、「アートワールドひろさき」の朝山奈津子さん、出佳奈子さんをゲストにお招きしました。アートワールドひろさきは現在、市民参加型まちづくり1%システム採択事業「poco a poco アートのたまご」を運営しています。親子で芸術のおもしろさや奥深さに触れることができる場として、絵本の読み聞かせや美術鑑賞会、音楽会、ワークショップ等を開催しています。

朝山さん、出さんのお二人は、この事業を始めたきっかけや活動内容、活動への思いについてお話ししていただきました。

◆ 活動を始めたきっかけとは？

普段、弘前大学の講師を務めるお二人は、学生に向け「地域の芸術振興」に関する講義を行った際、学生の「アートに対する考え方」に自分たちと大きな違いがあることに気づいたそうです。学生が考える「制作する、創り出す」側だけの視点ではなく、芸術作品を「受け止める（鑑賞する）」側も、知識を得た上でアートを楽しめる工夫が必要であると感じたそうです。

さらに、朝山さんの友人に「小さい子どもを育てていると、息抜きできる時間も場所もない」「子どもと一緒にいけるコンサートがあれば助かる」とお話される方もいらっしまったそうです。そうした、「小さなお子さんを持つ親御さんのニーズに応えたい」という朝山さんの思いと、「子ども向けのワークショップを開催したい」と考えていた出さんの思いが合致し、活動を始めるに至りました。

◆ 芸術を親子で楽しめる工夫とは？

アートワールドひろさきが開催するイベントには、小さなお子様連れでも楽しめる工夫が施されています。音楽のコンサートでは、演奏中の入退場自由としているほか、椅子席だけでなくマット席を用意し、ゆったりと親子でくつろぎながら鑑賞することができます。

また、美術ワークショップでは絵具を練り上げ、自分たちで練った絵具で絵を描く体験ができるメニューもあります。お子様はもちろん、親御さんも興味が湧くこと間違いなしです！

◆ アートを身近な存在に☺

市民の皆さんに「アートを生活の中で身近に体験してもらおう」ということが団体としての願いです。アートワールドひろさきが開催するイベントに限らず、普段の日常生活においても、絵を見たり音楽を聴いたり、芸術に関して色んな視野を広げていただければ、とお話しされていました。